

2017 年度 認定留学 留学報告書

国際交流学科 3 年

留学先：韓国 高麗大学

留学期間：2017 年 3 月～2017 年 8 月

半年間という短い期間でしたが、この留学を通して韓国語の実力を伸ばせられただけでなく、様々な国籍の人々とのコミュニケーションや異文化を学ぶことの大切さを学び、また自分のことを見つめなおせた大切な半年だったと思います。最初韓国に来たときは日常会話がわかる程度のレベルで、インテンシブコースで1年半韓国語を学びましたが、私はニュースや新聞記事にでてくるような難しい内容がわかるまでのレベルではありませんでした。語学堂で4、5級と2学期間韓国語を学んでいるうちに、だんだん耳が韓国語に慣れてきてクラスメートとの話し合いも、韓国語での会話が苦手だった私にとって最初はすごく大変だったのですが、だんだんできるようになりました。留学当初、クラスが4級だとわかった時は、覚える単語や語彙量が多いし周りのクラスメートたちが話すのが上手くて自分は合っていないんじゃないかと非常に戸惑いましたが、クラスメートと休日に試験の会話の練習を一緒にしたりして4級を無事卒業できたのでよかったです。一番韓国語の成長を実感できたのは5級でした。5級では主に、政治や経済、文化、社会などの身近なテーマを扱い、授業ではニュースを見たり話し合いをしたりしました。日常生活ではあまり使わないような難しい単語や、論説文や報告書を読んだり発表があって簡単ではありませんでしたが、授業を集中して受け予習復習を毎日欠かさずして徐々に単語を覚えて、今はニュースを見ても内容が最初と比べてだいぶわかるようになりました。また、韓国人や留学生の友達とたくさん交流を深めたり、テレビ番組を見ることによって会話やリスニングも伸ばすことができましたと思います。また、語学力を高めるために必要なのは母国語の語彙力が大切だと実感しました。授業で話し合った時、その話題についての知識はもちろん、それについてどう考えるのかをなるべく難しい語彙で表せなければ、外国後で発言する時に簡単で同じ表現を何回も使ってしまうので、やはり母国語の語彙力が一番の基礎であるなと学びました。

学習面以外で学んだことは、その国に住んで現地の人々や外国人と交流を深めながら知る異文化が、自分の視野を広げてくれたことです。かの区での生活の中で韓国人はもちろん、クラスに中国やモンゴルをはじめとするいろいろな国から集まった留学生と交流する機会がたくさんあったのですが、韓国語で会話することにより、その人の価値観や考え方が見えてきて、自分の考え方との差異や共通点を見つけられたり、その人が今まで育ってきた環境の背景が見えてきて自分の世界観が広がりました。また、私は韓国に留学する前、韓国と日本は歴史問題が根強く残っているから韓国でそういった話が出たときは日本人である私に何か言われそうだなという心配が結構あったのですが、実際に留学して韓国の人々と触れ

合ってみると、歴史は過去のことでは変えられないけどしっかり見つめて私達で未来を明るく作っていければいい、という人達もいて、日本でメディアを通してみている韓国の姿とは違いました。その国に生活してみて日本で見て聞いていた姿とは違う、新たにたくさんのことを発見できたのが留学のおもしろさなのではないかと思います。短い期間の留学でしたが、留学にチャレンジしてみて本当に良かったです。これからの人生にプラスになるように、留学で得たことをこれから生かしてがんばりたいと思います。